

令和3年度 福井市足羽小学校スクールプラン

＜福井市学校教育目標＞
「郷土福井に誇りをもち、
たくましく生きる子どもの育成」

＜保護者・地域の願い＞
・明るいあいさつができる子
・思いやりのある優しい子
・自分で考え行動する子

＜教師の願い＞
・夢や希望をもち、将来に向かって
羽ばたこうとする子
・互いに認め合い、協働できる子

＜学校教育目標＞



「生きる力」を身に付け、
たくましく未来を拓く児童の育成

＜めざす児童像＞

- すすんで学びよく考える子
- すすんで助け合い思いやりのある子
- すすんできたえがんぱりぬく子

＜光陽中学校区研究主題＞

「地域や学校に誇りをもち、
たくましく生きる児童生徒の育成」
—自分の目標に向かって考えを主体的に
表現し、互いに深め合う活動を通して—

＜児童の実態＞

- ・素直に話が聞くことができる
- ・与えられた課題に真面目に取り組む
- ・のびのびと活発に行動する
- ・自分で考えて行動する力が弱い

＜研究主題＞

主体的に学習する児童の育成～対話型授業を目指して～

重点目標

確かな学力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの実現に
向けた授業改善
- 基礎・基本の確かな定着

豊かな心の育成

- 進んで明るい挨拶ができる子の育成
- 思いやりの心をもって行動できる子
の育成

健やかな心身の育成

- ・健康で安全な生活習慣の確立
- ・進んで身体を動かし、運動を楽しむ
子の育成

家庭・地域との連携

- ・「ふるさと足羽」を愛する子の育成
- ・家庭、地域とともにある学校づくり
の推進
- ・情報モラル教育の推進

具体的な取組

- ・聞き方、話し方の定着、目的や課題
に応じたペア・グループ学習の導入、
タブレット端末等のICT機器の活
用を通し、互いに伝え合い学び合う
対話型の授業づくりを行う。
- ・ユニバーサルデザインの視点に沿つ
た授業づくりを行い、学ぶ意欲を高
め、基礎・基本の定着を図る。
- ・自学ノートを活用した家庭での自主
学習を推進し、家庭学習の習慣化を
図る。
- ・読み聞かせや家庭での読書を推進
し、児童の読書量を増やす。

数値目標

- ・自分の考えをもち、聞いたり話したり
している 80%以上
- ・授業がよくわかる 80%以上
- ・年間の図書貸出数 12,000冊以上

- ・時と場に合わせ、自分から進んで挨
拶ができるよう、継続的に指導する。
- ・道徳教育、人権教育の充実を図りな
がら、よりよい人間関係を築く力の
育成を図る。
- ・互いの良さを認め合い、仲良く協力
する温かな学級づくりを行う。
- ・毎月のアンケート「心のお天気カー
ド」や個人面談による児童理解をも
とに、いじめや不登校の未然防止と
組織対応に努める。
- ・不適応行動の早期発見と解決に向
け、多面的な校内外の体制で臨む。

- ・ルールやモラルなどの生活習慣の定
着を図るための取組を家庭と連携し
て推進する。（「足羽の子」「中学校
区家庭教育スタンダード」の活用）
- ・目や歯の健康に関する取組や、睡眠、
食習慣に関する指導を行うなど、健
康教育や食育の充実を図る。
- ・日常の安全指導や交通安全教室、各
種避難訓練を通して、自分の身を自
分で守ることができる子を育てる。
- ・体育の授業や行間活動を充実させ
るとともに、体育的行事等にめあてを
もって取り組ませ、運動に親しむこ
とができるようにする。

- ・豊かな自然、歴史的な資源、地域の
人材を積極的に活用するなど、地域
と関わる教育活動を推進するととも
に、その成果を積極的に地域へ発信
する。
- ・学校の教育活動についての情報を、
学校だよりやホームページ等で発信
する。
- ・園小中連携のほか、地域の広い世代
との交流の充実を図る。
- ・高学年児童や保護者に向けて、イン
ターネット利用や情報モラルに関す
る講習会を実施する。

- ・自分から挨拶をしている 90%以上
- ・学校が楽しい 90%以上
- ・道徳の時間には考えを深めること
ができる 80%以上

- ・廊下を走らない等、学校・学級のル
ールを守っている 80%以上
- ・体育等、めあてが達成できるように
取り組んでいる 90%以上。
- ・授業を通して、栄養や健康について
考えることができた 90%以上。

- ・足羽地区を生かした学習を行った
り、成果を地域に向けて発信したり
した 90%以上
- ・地域の他の世代と交流するこが楽
しい 80%以上
- ・学校だより月1回発行

＜業務改善のための取組＞

- ・ノー残業デー（水曜日）における18時退庁の徹底
- ・会議等の精選
- ・会議終了時刻の通知と徹底
- ・グループウェアを積極的に活用した連絡等を行い、職員打ち合わせの時間を短縮する。
- ・学校運営支援員の活用